

煙害の最中に飛行機燃やした訓練?! - 西日本防災システム

2013 06 22

6月22日 各地で煙害が環境に悪影響を及ぼしているマレーシアで、空港運営会社のマレーシア・エアポーツMAHBが22日にペナンのバヤン・レパス国際空港で飛行機模型を燃やす本格的な火災訓練を実施したそうです。

野焼きの規制が強まる中であって、住民からは不謹慎だとの声が上がっているそうです。

訓練では飛行機模型を燃やすために2,000リットルの石油が使用され、点火後上空を黒雲が覆ったようです。マレーシア・エアポーツMAHBは、環境局から許可を得ていた上で、3分という短時間で消火されたため影響はほとんどないと説明しているそうです。

MAHBによりますと、同火災訓練は年1回行なっているもので、先ごろ1台140万リンギット(約4,500万円)で購入したローゼンバウアー製の4台の特殊消防車の試運転を兼ねたものだそうです。同消防車は1万2,000リットルの水、1,500リットルの消火液、450キログラムの消火剤を搭載することができ、時速125Kmで走行できるんだそうです。これらのすばらしい車を使用する事態が発生しない事を願っております。



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

